

## 【住民参加企画】

# まちのこえ

～広報広聴委員が聞く～



# 「メダルへの願い届く!!」

## 「2018 平昌オリンピック出場選手を応援する会実行委員会」

6回にわたるパブリックビューイングやパレード・報告会といった祝賀イベントを成功させた、「2018 平昌オリンピック出場選手を応援する会実行委員会」の柿崎俊男会長と堀川貴庸たかのぶさんのお二人にお話を伺いました。

### ◆実行委員会はどのような経過で発足されたのですか？

◇昨年12月末に長野市(エムウェーブ)で開催されたスピードスケート代表選考会で、高木菜那選手と高木美帆選手が代表に選出されたことを受け、「幕別町からの応援の声を選手に届けることで、何としてもメダルを獲得して頂きたい」と幕別町体育連盟や幕別スケート協会など町内の関係7団体でこの会を発足させました。

### ◆パブリックビューイングや祝賀イベントを開催するに当たって心がけたことは？

◇会場まで来ていただいた方に、「ここで応援に参加してよかった」と感じてもらえるように工夫しました。会場ではお二人のお面・スティックバルーン・クラッカー・横断幕のほか、お二人のお宝グッズの展示などを企画しました。高木姉妹を応援するため、多くの方々にご来場いただき、おかげさまでパブリックビューイング会場は熱気に包まれてうれしかったです。



高木大輔さん(兄)[前列左から4人目]を囲んで  
前列左から2人目:柿崎会長、後列左から3人目:堀川さん

### ◆パブリックビューイング・パレード・報告会も大成功でしたね。実行委員会を代表してのご感想を。

◇高木姉妹が金メダリストとなったことに達成感と満足感でいっぱいです。パレードにおいては1万8千人の皆さんから祝福をいただき、さらには、未来をつくる子供たちとの触れ合いなど多くの方々にご来場いただき、また、多くのご協賛をいただいた事にも感謝申し上げます。この実行委員会は祝賀イベントを終え解散しましたが、また次回以降のオリンピックにおいても幕別町からたくさんのアスリートが代表になってもらいたいと思います。その時にも実行委員会を発足させ、選手を応援する行事に取り組んで盛り上げていきたいです。

(聞き手 谷口和弥 寺林俊幸)

## 編集後記

今号では平成30年第1回定例会から、4月と5月の臨時会の内容を掲載しました。

平昌オリンピックでの高木菜那選手、高木美帆選手の大活躍の喜びの余韻はまだ強く続いています。お二人のおかげで幕別町の名前が全国に知れ渡りました。このことを起爆剤にして、幕別町をより活気ある町にしようと様々な施策を開始しているところです。

今後も町内の皆さま方のご意見・ご要望にしっかりと耳を傾けて、残り1年を切った議員任期の最後まで全力を尽くしてまいります。

谷口和弥

議会広報広聴委員会

委員長 小島智恵 副委員長 寺林俊幸  
委員 荒貴賀 小田新紀 内山美穂子 若山和幸  
小川純文 野原恵子 谷口和弥

### ○お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

## 議会を傍聴して

札内北町 今井 孝之

3月7日付けの「北海道新聞」で「上ノ国町議会一般質問ゼロ」の記事を読んだ後で傍聴に行きました。幕別町では20人の議員全員が出席し、10人の議員が一般質問をすることを知り、議会が健全に機能していると安心しました。



しかし、何回かの傍聴で感じたことですが、一般質問をする議員としない議員に片寄りがあるように見えたことは残念でした。

行政は、住民のための施策を提案し、それを議会がチェックして、お互いに住民の生活が豊かになるよう努力してほしいものです。